

令和4年度

事業報告書



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

大阪府支部

は じ め に

平素は、日本赤十字社大阪府支部の活動に格別のご支援、ご協力をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「救うことを、つづける。」を合言葉として、災害時の救護活動だけでなく、災害時の被害を少しでも軽減するために地域や学校における防災・減災への取り組みを強化しています。また、いのちと健康を守る知識と技術を伝える救急法講習などの普及、ボランティア活動の支援や青少年赤十字活動を通じた青少年の育成、地域防災活動の促進など皆さまにより身近な活動を続けております。

「救いたい」という気持ちが結集したとき、想像を超える大きな力が生まれます。その“うねり”を原動力とする「運動体（Movement）」の赤十字は、紛争、災害、病気、傷害、貧困などに悩む人々を「救う」ため、研鑽を重ね、持てる力を発揮します。

ここに令和4年度に実施いたしました各種事業内容をご報告申し上げます。

併せて、令和2年冬から続いてきた新型コロナウイルス感染症への対応についても3年間の活動を特集としてとりまとめ、報告を申し上げます。

皆さまにおかれましても、今後とも赤十字運動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

お気づきの点など、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和5年6月

日本赤十字社大阪府支部

目 次

はじめに

1 国内災害救護	4
1 救護班・救護員の登録状況	4
2 救護訓練の実施状況	4
3 救護員研修会の実施状況	5
4 大規模災害用救援物資の備蓄	6
5 救護資機材等の整備	6
6 街頭救急箱の設置	6
7 義援金の受付	7
2 国際活動	8
1 国際救援・開発協力要員の登録状況	8
2 国際救援要員の派遣	9
3 支部の国際活動への参加	9
4 海外救援金	9
3 赤十字ボランティア	10
1 赤十字ボランティアの現況（登録状況）	11
2 地域赤十字奉仕団の活動	12
3 特殊赤十字奉仕団の活動内容	13
4 青年赤十字奉仕団の活動内容	15
5 個人ボランティアの活動	16
6 奉仕団・ボランティア活動促進事業	16
7 他団体との連携・協力事業	17
4 青少年赤十字	18
1 加盟の現状	18
2 青少年赤十字の活動推進（会議等の開催）	19
3 青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催）	20
4 青少年赤十字メンバー・リーダーの育成	21
5 国際交流	22
6 募金活動等の状況	23
7 青少年赤十字体験学習プログラム／出前講座	25
5 救急法等の講習	25
1 救急法	25
2 水上安全法	25
3 健康生活支援講習	26
4 幼児安全法	26
5 防災セミナー	27
6 医療事業	28
1 業務実績	28
2 支部による助成（救護用医療機器及び 救急医療体制の整備）	29
7 看護師などの教育	30
1 大阪赤十字看護専門学校	30
2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与	30
8 社会福祉	31
1 大手前整肢学園	31
2 支部による助成（社会福祉施設の整備）	31
9 血液事業	32
1 献血状況累計	32
2 血液製剤の供給本数	32
3 支部による助成（採血受入機関の整備）	32
10 活動資金の募集	33
1 財政基盤の強化	33
2 活動資金募集実績表（令和4年度）	33
3 会員数	35
4 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会	35
11 赤十字の広報	36
1 広報物の作成	36
2 マスメディア等による広報	37
3 その他	38

12 赤十字思想及び国際人道法の普及…	39
■国際人道法の普及 ……………	39
13 評議員会 ……………	40
■開催状況 ……………	40
14 赤十字大会 ……………	41
■表彰者の内訳 ……………	41
15 会計 ……………	42
■活動資金の収入支出 ……………	42
16 支部の機構と役職員 ……………	43
■機構 ……………	43
17 大阪日赤有功会 ……………	45
■活動資金募集協力 ……………	45
■総会の開催 ……………	46
■大阪日赤有功会講演会の開催 ……………	45
■創立50周年記念チャリティーコンサート の開催 ……………	45
■赤十字活動への支援 ……………	46
■修学奨励 ……………	46
■会報誌の発行 ……………	46
■広報紙「日赤大阪」等の配付 ……………	46
■常任委員会の開催 ……………	47
■日赤紺綬・有功会会長協議会総会への 出席 ……………	47
特集 新型コロナウイルス感染症に対する 対応について ……………	48

1 国内災害救護

近年、災害は頻発化・激甚化・広域化することが増え、近畿では南海トラフ地震など甚大な被害を及ぼす災害が予想されています。

当支部では、災害救護活動をより効果的に実施するために、救護員の資質向上を目標とした研修や訓練を実施し、救護体制及び救護資機材の整備に積極的に取り組んでいます。

1 救護班・救護員の登録状況

(令和5年3月31日現在)

支部・施設	班数	救護班要員（人）							血液供給要員	災害対策本部要員	計（人）
		医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	その他			
支 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26	26
大阪赤十字病院	15	21	16	25	51	2	14	—	—	—	129
高槻赤十字病院	5	5	5	10	10	1	5	—	—	—	36
血 液 セ ン タ ー	—	—	—	—	—	—	—	—	75	—	75
計	20	26	21	35	61	3	19	—	75	26	266

2 救護訓練の実施状況

主催		実施日	訓練の名称	会場	参加施設（人）				
					大阪HP	高槻HP	血液センター	支部	計
赤十字	日本赤十字社第4ブロック各府県支部	6月18日	日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練	奈良県	17	16		13	46
	大阪赤十字病院	10月1日	大阪赤十字病院災害訓練	大阪赤十字病院	多数				多数
	高槻赤十字病院	3月13日	高槻赤十字病院災害訓練	高槻赤十字病院		多数			多数
行政	近畿地方整備局・堺市	11月7日	近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練	堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点		7		4	11
	大阪市	10月4日	大阪市総合防災訓練	舞洲	16			5	21
	高槻市	1月29日	市政施行80周年記念事業高槻市全域大防災訓練	安満遺跡公園		10			10
	内閣府	2月10日	令和4年度大阪府・京都府・兵庫県国民保護共同実動・図上訓練	大阪府庁他	2	3		1	6

主催	実施日	訓練の名称	会場	参加施設（人）				
				大阪 HP	高槻 HP	血液 センター	支部	計
その他	7月21日	関西国際空港航空機事故 会場事故図上訓練	関西国際空港				2	2
	8月25日	関西国際空港航空機事故 医療救護活動部分訓練					3	3
	10月13日	関西国際空港航空機事故 消火救難総合訓練		7			3	10
	11月24日	大阪国際空港航空機事故 対策部分訓練	大阪国際空港		7		3	10
	11月16日	NTTグループ防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災 拠点				5	5
計			12回	42以上	43以上	—	39	124以上

（注）検証・オブザーバー、来賓の参加を除く。

3 救護員研修会の実施状況

主催	実施日	研修の名称	会場	参加施設（人）				
				大阪 HP	高槻 HP	血液 センター	支部	計
赤十字	4月1日	災害対策本部要員基礎研修会	大阪赤十字会館				5	5
	6月1日 ～8月31日	救護員基礎研修会	オンライン	多数	多数	多数	1	1以上
	7月7日	災害対策本部要員研修会	大阪赤十字会館				18	18
	9月4日	救護員実技研修会	大阪赤十字病院	39	8	2	4	53
	9月7日 11月9日	こころのケア研修会	大阪赤十字会館	26	3		4	33
	9月16日 2月22日	資機材習熟研修会	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災 拠点				18	18
	12月8日 ～12月9日	第4ブロック合同 原子力災害対応基礎研修会	京都市	3			2	5
	1月21日 ～1月22日	日赤災害医療コーディネート 研修会	東京	2				2
	9月	車両運転技術向上研修	自動車学校	6			8	14
	通年	中型運転免許取得研修	自動車学校	2	1		1	4
計			10回	78以上	12以上	2以上	61	153以上

（注）研修スタッフの参加を除く。

4

大規模災害用救援物資の備蓄

(令和5年3月31日現在)

(1) 災害救助法が適用される災害時に配付する物資

大阪赤十字病院の「日本赤十字社災害拠点病院ロジスティクス・センター」及び高槻赤十字病院の「高槻赤十字病院災害救護倉庫」に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛布	7,100枚
緊急セット	1,878個
安眠セット	550個

(2) 災害救助法が適用されない地震、風水害、火災、その他の災害に配付する物資

大阪府支部の「救護倉庫」及び各地区・分区の倉庫等に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛布	1,104枚
日用品セット	359個

5

救護資機材等の整備

救護資機材を計画的に整備、更新しました。

品名	数量	用途
災害救護車両	2台	救護員や救援物資を迅速に搬送するため
安全靴	40足	災害現場での安全を確保するため
簡易業務用無線機	12台	災害現場での通信環境を確保するため
発動発電機点検・修理	5台	災害用発電機の点検・修理
非常食 [*]	約60人分	救護員の食料を確保するため

※救護員用として、約300人分を備蓄しており、ローリングストック法により毎年購入しています。

6

街頭救急箱の設置

応急手当を必要とする府民の利用に供することを目的に、府内の警察署や交番などに救急箱を設置しています。

設置先	設置数(個)	備考
大阪府警察本部	939	府内各警察署、交番などに設置

名称		受付額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金		239,787
令和2年7月豪雨災害義援金		628,400
令和4年3月福島県沖地震災害義援金		716,575
令和4年7月大雨災害義援金		142,609
令和4年台風第15号災害義援金		696,783
令和4年8月3日から大雨災害義援金		692,842
計	6件	3,116,996

2 国際活動

日本赤十字社はスイスのジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟や各国の赤十字社・赤新月社と連絡を取り合って、武力紛争の犠牲者や自然災害の被災者に対して緊急に救援活動を行うとともに、保健衛生事業や防災事業などの中・長期の視野に立った開発協力事業を実施しています。

当支部でも、国際的な視野を持った救援要員の養成および保健医療支援などの国際活動を積極的に行っており、大阪赤十字病院は日本赤十字社の「国際医療救援拠点病院」に指定されています。

1 国際救援・開発協力要員の登録状況

(令和5年3月31日現在)

支部・施設等	医師	看護師 助産師	管理要員 (含コメディカル)	計(人)
支 部	—	—	3	3
大阪赤十字病院	3	10	11	24
高槻赤十字病院	0	1	0	1
血液センター	0	0	0	0
ボランティア等	0	0	1	1
計	3	11	15	29

2 国際救援要員の派遣

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行した状況でも、日本赤十字社では、医療支援事業を継続するために、国際救護要員の現地派遣とリモート派遣（日本からの遠隔支援）を組み合わせた支援を行っています。

事業名	派遣先	派遣形態	派遣期間	所属施設	派遣要員	延べ(人)
パレスチナ赤新月社医療支援事業	レバノン共和国	派遣	令和４年７月～ 令和４年９月	大阪赤十字病院	医師１名	３
			令和４年12月～ 令和５年６月	大阪赤十字病院	事務管理１名	
		リモート派遣	令和４年７月	大阪赤十字病院	看護師１名	
ウクライナ人道危機救援事業	モルドバ共和国	派遣	令和４年３月～ 令和４年６月	大阪赤十字病院	事務管理１名	３
	ウクライナ他		令和４年４月～ 令和４年６月	大阪赤十字病院	薬剤師１名	
			令和５年３月～ 令和５年６月	大阪赤十字病院	薬剤師１名	
計					２事業	６

3 支部の国際活動への参加

事業名	国名	支援金額	備考
コミュニティ防災事業	インドネシア共和国	100万	平成30年度より実施

4 海外救援金

名称	受付額(円)
中東人道危機救援金	18,858
バングラデシュ南部避難民救援金	7,812
アフガニスタン人道危機救援金	28,938
2022年パキスタン洪水救援金	125,447
ウクライナ人道危機救援金	36,127,267
2023年トルコ・シリア地震救援金	15,237,055
計	6件 51,545,377

3 赤十字ボランティア

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命である人道的な活動を実践しようとする人々が集まって結成された、ボランティア組織です。昭和23年に創設された赤十字奉仕団は、現在に至るまで、その時代に合わせた活動を展開しています。

赤十字奉仕団には、地域ごとに組織されている「地域赤十字奉仕団」、若者によって組織されている「青年赤十字奉仕団」、無線や歯科衛生士、看護師など特殊な技能をもった人たちによって組織されている「特殊赤十字奉仕団」があります。また、個人で赤十字活動に参画されている個人ボランティアのグループもあります。赤十字の活動は、こうしたボランティア組織によって支えられています。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小を余儀なくされましたが、創意工夫を行いつつ活動しました。



学内献血（玉手山学生赤十字奉仕団）



高齢者施設への訪問（芸能奉仕団）



親と子の防災セミナー（防災ボランティア）



地域の防災イベント（安全事業指導奉仕団）

(1) 地域赤十字奉仕団

	市区町村数	奉仕団数	団員数（人）（令和4年4月1日時点）		
			男	女	計
区	31	31	100,978	100,779	201,757
市	31	31	116,310	109,438	225,748
町	9	9	48	79	127
村	1	1	14	0	14
計	72	72	217,350	210,296	427,646

(2) 特殊赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）（令和5年3月31日時点）		
	男	女	計
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	13	17	30
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	63	52	115
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	37	4	41
日本赤十字社大阪府支部 大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	18	3	21
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	8	3	11
大阪赤十字病院奉仕団	16	36	52
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	1	14	15
近畿大学赤十字奉仕団	35	43	78
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	0	84	84
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	2	102	104
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	39	14	53
高槻日赤技能奉仕団	3	13	16
計	235	385	620

※日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団は、令和5年1月31日をもって廃団。

(3) 青年赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）（令和5年3月31日時点）		
	男	女	計
大阪府青年赤十字奉仕団	11	15	26
玉手山学生赤十字奉仕団	1	27	28
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	9	1	10
計	21	43	64

(4) 個人ボランティア

ボランティア名	人数（人）		
	男	女	計
赤十字防災ボランティア	27	13	40
裁縫ボランティア	0	29	29
救急法指導ボランティア	11	11	22
健康生活支援講習指導ボランティア	1	14	15
幼児安全法講習指導ボランティア	5	19	24
子育て支援ボランティア	1	28	29
計	45	114	159

(令和5年3月31日時点)

2 地域赤十字奉仕団の活動

(1) 地域赤十字奉仕団大会等の開催

実施日	地区名	場所	種別
【大阪市】			
6月18日	都島区	都島区民センター	大会
9月9日	西区	リーガロイヤル中之島センタービル	大会（研修）
10月4日	生野区	ホテルアウィーナ大阪	大会
10月11日	浪速区	クボタホール	大会（研修）
10月18日	平野区	平野区民センター	大会
10月20日	東淀川区	東淀川区民センター	大会
10月25日	城東区	城東区民センター	大会
11月2日	住吉区	住吉区民センター	大会
11月4日	西成区	西成区民センター	大会
11月7日	港区	港区民センター	大会
11月11日	淀川区	大阪ガーデンパレス	大会
11月15日	此花区	此花会館	大会
11月25日	西淀川区	西淀川区民センター	大会
11月27日	鶴見区	鶴見区民センター	大会
2月21日	東成区	KKRホテル大阪	大会（研修）

実施日	地区名	場所	種別
【衛星都市】			
4月21日	箕面市	箕面文化・交流センター	総会
4月25日	豊中市	豊中市すこやかプラザ	総会
4月29日	摂津市	摂津市立コミュニティプラザ	総会
5月25日	吹田市	吹田市文化会館メイシアター	総会
11月20日	箕面市	箕面市立メイプルホール	公演（60周年）
12月6日	枚方市	枚方市立総合文化センター	大会

(2) 赤十字防災デー（地域における赤十字啓発イベント）

「災害からいのちをまもる」ための取組みとして、防災・減災に向けた地域力向上等を目的とし、防災啓発にかかる展示や資材の配布などを以下の13区市町において計21回実施しました。

大阪市阿倍野区、堺市中区、堺市南区、吹田市、高槻市、守口市、富田林市、箕面市、門真市、高石市、四條畷市、豊能町、太子町

3 特殊赤十字奉仕団の活動内容

奉仕団名	概要	令和4年度の活動内容
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	プロの芸能人により組織された奉仕団で、高齢者福祉施設などを訪問し、漫才・マジック・曲芸・大神楽・浪曲・落語・歌謡ショーなど、多彩な演芸で人々に笑顔を届けている。	・高齢者福祉施設に訪問（2回）し、マジック・歌謡ショー・伝統芸能・津軽三味線等を披露 ・令和4年度日赤紺綬・有功会 懇親会でマジックを披露
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	救急法、水上安全法の指導を通して、一人でも多くの府民がその知識や技術を習得し、安全な生活が営まれるよう活動を行っている。	・支部救急法基礎講習・救急員養成講習・水上安全法救助員養成講習に参加（21回） ・奉仕団員勉強会の開催 ・奉仕団員限定動画の配信 ・「かどま市スポーツレクリエーションフェスティバル」への参加 ・講習用資材の整備（AEDパッドの取り替え）
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	災害時に無線技術を用いて災害救護活動に協力、また日頃から災害に備えた訓練や業務用無線伝搬調査などを実施している。	・第4ブロック合同災害救護訓練に参加（1回） ・他県赤十字無線奉仕団との非常通信訓練（7回） ・大阪市内の伝搬調査通信訓練（1回）
日本赤十字社大阪府支部大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	歯科医師の技術を活かし、機動力のある自動車を駆使して災害時の救護活動を行う。また、日頃から救急法講習会の開催、器具の点検や薬品の整備など災害に備えている。	・大阪府歯科医師自動車連盟第38回法歯学研修会に参加 ・歯科医師自動車連盟主催の運転免許更新時講習会で救急法短期講習を実施（計4回） ・日本法歯学医学会第16回学術大会に参加

奉仕団名	概要	令和4年度の活動内容
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	赤十字関係行事での写真撮影、記録を通じて、赤十字事業の普及を図っている。	・大阪府赤十字大会で記録・記念写真の撮影
大阪赤十字病院奉仕団	大阪赤十字病院内での受付案内や車椅子の移送介助、入院患者を対象とした院内図書活動などを行っている。また、福祉施設へ縫製したパジャマなどを届ける裁縫奉仕活動も行っている。	・衛生材料整理、整肢学園洗濯たたみ、車いすメンテナンス ・院内図書活動 ・裁縫部活動 ・車いす移送活動、案内、入院サポートセンターからの患者さんの移送
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	看護師（准看護師）としての知識・技術を活かし、各種イベントで参加者が安全に過ごせるように保健活動を行っている。	・役員会（3回） ・総会（1月） ・学校行事等での保健活動（25回）
近畿大学赤十字奉仕団	大学や青年赤十字奉仕団と連携を図り学内での献血推進活動等、幅広い活動を行っている。	・学内での献血呼びかけ（17回） ・赤十字について学ぶ研修（3回）、救急法の勉強会（4回） ・大学周辺の清掃活動（13回）
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	福祉施設において、口腔衛生指導や口腔機能訓練を定期的に行い、公衆歯科衛生の普及向上を図っている。	・知的障害児生活施設における口腔ケア啓発活動 ・視覚障害リハビリテーションセンターにおける口腔ケア啓発活動
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	福祉施設入所者に対し、ハンドケア、フェイシャルケアなどを施すことにより、ケアを受けた方が笑顔を取り戻し、生きる励みになるよう活動を続けている。	・指導者更新勉強会（1回） ・指導者会議（1回） ・全国連絡協議会運営委員会（5回） ・全国連絡協議会総会（1回） ・全国連絡協議会 EX オンライン研修（4回）
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	青少年赤十字指導者であった経験を活かし、新たな指導者やメンバーの育成に取り組んでいる。また、青少年赤十字活動の記録、広報を担い、事業の伸展に寄与している。	・総会（文書審議） ・青少年赤十字100周年記念事業用のパネル作成協力 ・会報発行 ・青少年赤十字指導者協議会コンベンションに参加及び取材
高槻日赤技能奉仕団	健康生活支援講習で習得した技能をもとに、高槻市が主催する行事での救護活動（応急手当）や高槻赤十字病院での受付案内や患者のサポート活動を行っている。	・高槻市主催の行事やスポーツ大会での救護活動（13回） ・健康生活支援講習支援員養成講習でのアシスタント活動（15回） ・総会（1回） ・勉強会（2回）

奉仕団名	概要	令和4年度の活動内容
大阪府青年赤十字奉仕団	18歳から30歳までの社会人や学生で組織されており、若者の感性を活かした行事や青少年赤十字行事への参加などを行っている。	・総会（文書審議） ・新入団員セミナー（1回） ・Humanity Action Program（1回）
玉手山学生赤十字奉仕団	学内での献血推進活動や特別支援学校入所児童との交流（保育ボランティア、ハイキング、運動会等）の活動を行っている。	・学内献血（3回） ・交流会（1回） ・1年目団員向けオリエンテーション（1回）
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	学内での献血推進活動や大東市（大学の所在地）に住む障がい児童との交流などの活動を行っている。	・学内献血（3回） ・子ども食堂ボランティア（原則 月2回）

活動名	概要	令和4年度の活動内容
合同活動 （青年・玉手山・大阪産業大学・近畿大学）	ア 大手前整肢学園児童との交流 ・定期交流会（通称：OSTEK）及び季節の行事（夏祭り、花火大会、クリスマス会など） イ 児童養護施設入所児童招待プログラム「赤十字冬のつどい」 ウ HIV/AIDS ピア・エデュケーション エ 防災ピア・エデュケーション オ 新入団員セミナーの開催（活動紹介、グループワークなど） カ 募金活動（災害義援金）	・新入団員セミナー（1回） ・HIV/AIDSピア・エデュケーション（1回） ・防災ピア・エデュケーション（1回） ・赤十字 冬のつどい（1回）

5 個人ボランティアの活動

名称	概要	令和4年度の活動内容
防災ボランティア	普段から研修を重ねることで防災や災害救護について学び、災害時の被災者支援活動に活かしている。また、親と子の防災セミナーなど、府民を対象に防災意識を啓発する活動を行っている。	・親と子の防災セミナー（2回） ・青少年赤十字防災教育プログラム（7回） ・赤十字防災デー（3回） ・総会（1回）
裁縫ボランティア	高齢者用のパジャマやひざかけ、乳児用のスタイ、スモック、ボールなどを縫製し、府内の社会福祉施設に届けている。手作りマスクの縫製にも取り組んでいる。	・縫製活動（月8回程度） ・高齢者福祉施設、乳児院、母子支援施設への縫製品の寄贈（3施設） ・あいりん手作りマスクプロジェクトへの参加（マスクの寄贈）
子育て支援ボランティア	支部主催の「子育て支援ボランティア養成講座」を受講後に登録した個人ボランティアで、献血ルームでのお子様見守りサービスや、大阪赤十字病院小児病棟にて絵本の読み聞かせや紙芝居等の活動を行っている。	・季節飾り作業（月1回） 大阪赤十字病院小児病棟への季節飾りの作成と寄贈

6 奉仕団・ボランティア活動促進事業

行事名	実施日・場所	参加者	参加人数	内容
赤十字ボランティア基礎研修	6月12日 於：大阪赤十字会館・オンライン	特殊・青年奉仕団、個人ボランティア	19	・赤十字のおこりと基本原則 ・赤十字とボランティア ・ボランティア活動事例紹介 ・災害と赤十字ボランティア
ボランティア・フェスティバル	8月7日 於：オンライン	特殊・青年奉仕団、個人ボランティア	-	・赤十字ボランティアの紹介動画の掲載
地域赤十字奉仕団ボランティア基礎研修	5月31日 9月28日 於：大阪赤十字会館	地域赤十字奉仕団	30 31	・赤十字のしくみと活動 ・活動資金の募集 ・日本赤十字社の災害救護活動 ・地域で展開できる赤十字活動の紹介
ボランティア・リーダーシップ研修（1）	10月20日 於：大阪赤十字会館	地域赤十字奉仕団	32	・血液事業の現状 ・赤十字防災セミナー「災害への備え（地震・津波）」 ・健康生活支援講習「避難所での生活支援」
ボランティア・リーダーシップ研修（2）	11月29日 於：大阪赤十字会館	地域赤十字奉仕団	29	・日本赤十字社の取り組み ・災害時高齢者生活支援講習 ・奉仕団のリーダーに求められるもの（大阪教育大学 教育協働学科 新崎 国広教授）
地域・特殊奉仕団合同委員長研修	12月12日 於：大阪赤十字会館	地域・特殊奉仕団	29	・日本赤十字社の国際活動 ・ウクライナ人道危機支援

行事名	実施日・場所	参加者	参加人数	内容
赤十字ボランティア防災研修	1月15日 於：大阪赤十字会館	特殊・青年奉仕団、 個人ボランティア	32	・災害と赤十字ボランティアについて ・災害ボランティアの必要性和役割について (関西大学 社会安全学部 菅 磨志保 准教授)
赤十字ボランティアのつどい	3月5日 於：大阪赤十字会館・オンライン	特殊・青年奉仕団、 個人ボランティア	58	・表彰式（有功章・感謝状の伝達） ・ボランティア活動報告 ・支部活動報告

7 他団体との連携・協力事業

(1) おおさか災害支援ネットワーク（OSN）

大阪府域における災害発生に備え、平時より多様な市民セクターや企業・団体等が行政や関係機関と連携し、被災者支援を円滑に行うことを目的として組織されています。

行事名	実施又は回数	参加人数
世話役会	毎月1回程度	各1人
定例会	7月22日	1人
	1月23日	2人
課題別部会（食の支援）	8月26日	1人

(2) 大阪災害支援活動連携会議

大阪府内で大規模災害が発生した場合における被災者への迅速かつ円滑な支援を目的として、大阪府内の関係機関が平時から連携し、官民協働で施策の情報共有・推進を図るため設置されています。

行事名	実施又は回数	参加人数
大阪災害支援活動連携会議	6月21日	2人
	10月24日	2人
	3月24日	1人

(3) 大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会（OCOnoMiおおさか）

大阪府内の協同組合及びNPO等の非営利協同セクターが相互に連携して共通課題の解決に取り組み、活動を促進することを目的として設置されています。

行事名	実施又は回数	参加人数
委員会	7月8日	2人
幹事会	隔月1回程度	1人
ワンワールド・フェスティバル	2月4日・2月5日	1人
合同若手研修会	2月24日	2人

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

この目的を達成するため、実践目標と望ましい態度目標を次のように掲げています。



上記の目標は、学校教育の中で実践されています。
1922年から始まった青少年赤十字は2022年5月5日に
創設から100年を迎えました。



JRC100周年マーク

1 加盟の現状

(1) 登録状況

区分	令和4年度		
	加盟校数	加盟児童・生徒数	指導者数
幼稚園	17	945	113
保育所(園)	2	22	66
認定こども園	2	321	97
小学校	276	92,208	5,429
中学校	67	24,024	1,509
義務教育校	4	1,071	150
高等学校	20	9,607	511
特別支援学校	3	344	332
計	391校	128,542人	8,207人

(1) 本社主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
青少年赤十字全国指導者協議会 総会・研修会	オンライン	6月29日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 会長 天野 久
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 役員会・総会	日本赤十字社本社	7月14日 ～7月15日	大阪府青少年赤十字賛助奉仕団 委員長 楠 玲子

(2) 第4（近畿）ブロック主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
第4（近畿）ブロック青少年赤十字指導者協議会	コロナ禍のため、開催なし		

(3) 大阪府支部主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館/ オンライン	5月12日	会員 11人
	大阪赤十字会館	1月29日	会員 6人
大阪府高等学校青少年赤十字指導者協議会	オンライン	6月5日	会員 8人
	大阪赤十字会館/ オンライン	2月23日	会員 9人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 青少年赤十字活動推進専門委員会	大阪赤十字会館/ オンライン	5月21日	委員 7人
	大阪赤十字会館/ オンライン	2月23日	委員 5人
青少年赤十字100周年事業実行委員会	大阪赤十字会館	1月29日	委員 6人

(4) 高等学校青少年赤十字指導者協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会	オンライン	6月5日	メンバー 11人、指導者 6人
	大阪赤十字会館/ オンライン	9月4日	メンバー 15人、指導者 6人
	大阪赤十字会館	2月12日	メンバー 14人、指導者 2人

(5) 青少年赤十字賛助奉仕団主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団総会	大阪赤十字会館	6月14日	団員 13人

(1) 本社主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会		コロナ禍のため、開催なし	
指導主事対象青少年赤十字研究会		コロナ禍のため、開催なし	

(2) 第4（近畿）ブロック主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
第4（近畿）ブロック青少年赤十字指導者研修会 ※青少年赤十字創設100周年記念滋賀県青少年赤十字大会を本研修に位置付けた。	守山市市民ホール	7月29日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 活動推進専門委員 1人
第4（近畿）ブロック青少年赤十字賛助奉仕団 交流研修会	東大寺総合文化センター	10月20日	団員 4人

(3) 大阪府支部主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
大阪府青少年赤十字指導者養成講習会		中止	
青少年赤十字創設100周年大阪府青少年赤十字指導者コンベンション	大阪赤十字会館	1月29日	講演者 大阪管区気象台気象防災部予報課 防災気象官 中平 昭彦 氏 指導者 36人

(4) 大阪府内ブロック・市町村指導者協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
泉南市青少年赤十字指導者研修会	泉南市立新家小学校	6月1日	指導者 66人
泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会	泉佐野市立文化会館	8月17日	指導者 38人
泉南ブロック青少年赤十字協議会 専門委員研修会	泉南市立新家小学校	2月9日	指導者 9人

(1) 本社主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
令和4年度青少年赤十字スタディー・プログラム	オンライン	3月21日	高校生メンバー 2人
	日本赤十字社本社	3月25日	

(2) 大阪府支部主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
青少年赤十字創設100周年大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニング・センター	大阪赤十字会館	8月1日 8月2日	中高生メンバー 24人 指導者 13人 赤十字奉仕団 6人
		8月3日	小学生メンバー 21人 指導者 14人 赤十字奉仕団 3人
青少年赤十字創設100周年大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター	大阪府立少年自然の家	3月20日 ～3月21日	高校生メンバー 46人 指導者 20人 赤十字奉仕団 8人



100周年事業「寄せ書き旗」に将来の自分への想いを記す小学生メンバー

(3) 大阪府内ブロック・市町村協議会・高等学校協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
和泉市青少年赤十字中学生メンバー交流会	オンライン	7月27日	加盟中学校 10校
高校生メンバーによる献血呼びかけ活動	府内献血ルーム /献血バス	12月14日 12月15日	メンバー 44人
堺市青少年赤十字のつどい	サンスクエア堺	1月28日	参加者 41人



高校生メンバーで実施した献血の呼びかけ

5 国際交流

行事名	場所	実施期日	参加状況
青少年赤十字創設100周年記念令和4年度国際交流事業	オンライン (大阪府支部)	10月2日 11月5日 11月6日	高校生メンバー 7人 指導者 2人



世界の仲間と交流する高校生

募金活動	実施期間	成果
大阪府青少年赤十字 愛のひとにぎり心もち運動	11月14日～12月31日	募金総額 計 831,975円 実施校園所 138校 ●赤十字の災害救護活動や新型コロナウイルス感染症対応支援 内訳 堺市青少年赤十字指導者協議会 622,554円 忠岡町青少年赤十字指導者協議会 25,636円 岸和田市青少年赤十字指導者協議会 27,619円 泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会 38,717円 ●インドネシア・コミュニティ防災強化事業支援 内訳 泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会 47,449円 ●福祉施設への贈呈 内訳 岸和田市青少年赤十字指導者協議会 30,000円 泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会 40,000円

募金活動	実施校	成果
一円玉募金	大阪市立東陽中学校	7,027円

学習項目	実施対象と回数		実施期間	実施内容
国際理解・平和学習プログラム	小学校	3回	通年	地雷・世界の子どもたちの現状・国際赤十字の援助・平和、キャリア教育、SDGsについてなど
	中学校	1回		
	高 校	2回		
	教 員	0回		
	計6回			計 506人
防災教育プログラム	小学校	5回	通年	災害時の心構え、炊き出し体験、「まもるいのちひろめるぼうさい」など
	中学校	3回		
	高 校	4回		
	教 員	0回		
	計12回			計 1,031人
健康・安全プログラム	小学校	6回	通年	着衣泳、一次救命処置、応急手当など
	中学校	6回		
	高 校	2回		
	教 員	8回		
	計22回			計 1,051人
福祉体験学習プログラム(資材貸出)	小学校	1回	通年	車椅子体験、ガイドヘルプ体験、高齢者疑似体験など
	中学校	0回		
	高 校	0回		
	教 員	0回		
	計1回			計 66人

5 救急法等の講習

1 救急法

病気やけがから自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助し、医師又は救急隊に引き継ぐまでの一次救命処置を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	1	0	0	0	0	0	0	1	15
基礎	21	6	0	13	5	1	4	50	1,327
救急員養成	14	3	0	12	3	0	0	32	864
短期講習	2	8	0	50	26	14	15	115	4,821
（うち、オンライン講習）	0	2	0	0	5	3	0	10	688
計	38	17	0	75	34	15	19	198	7,027

※1 赤施…赤十字関係施設、赤団…赤十字関係団体、地…地域、学…学校、企…企業、公…公的団体、他…その他

2 水上安全法

水と親しみ、水の事故からいのちを守るための知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員Ⅰ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助員Ⅰ養成	3	0	0	1	2	0	0	6	97
救助員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	0	0	15	0	0	4	1	20	950
計	3	0	15	1	2	4	1	26	1,047

3 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康維持・増進と高齢者の自立を目指した介護の方法を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成	2	8	0	0	0	0	0	10	164
短期講習	4	12	2	1	3	9	0	31	1,185
災害時高齢者生活支援	3	8	2	1	1	8	0	23	964
（うち、オンライン講習）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	20	2	1	3	9	0	41	1,349

4 幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防と手当の方法、病気の看病の方法などの知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	1	0	0	0	0	0	0	1	8
支援員養成	4	0	0	0	0	0	0	4	94
短期講習	13	13	0	20	1	39	1	87	1,686
（うち、オンライン講習）	4	0	0	2	0	0	0	6	122
計	18	13	0	20	1	39	1	92	1,788

5 防災セミナー

「地震」や「大雨」への備えについての講義、「災害エスノグラフィー※」など「自助」・「共助」の力を高める講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
講義（地震・津波）	11	5	0	6	2	0	0	24	1,804
（うち、オンライン講習）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講義（大雨・土砂災害）	1	1	1	0	3	0	0	6	197
（うち、オンライン講習）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	6	1	6	5	0	0	30	2,001

※ 災害エスノグラフィー：読み物を通じて過去の災害を追体験することにより、防災・減災に役立つ教訓や知識を学ぶことを目的としたグループワーク。

6 医療事業

大阪・高槻両赤十字病院は、人道の赤十字精神に基づき、安全で良質の医療を提供しています。また、地域の医療機関と連携し、地域完結型の医療を支えるために、病院と診療所などが一体となって地域に根差した医療を推進していきます。

当支部では、赤十字の使命である災害時に医療救護班を迅速に被災地へ派遣するための体制整備や、災害救護及び救急医療用医療機器などの整備に助成しました。また、新型コロナウイルス患者受入体制整備に各2,000万円を支援しました。

大阪赤十字病院

- ・診療科目数 : 36科
- ・指定医療機関認定数 : 41（災害拠点病院など）
- ・特色ある診療施設 : 救命救急センター、心臓血管センター、
外来通院治療センター、脳卒中センター、アレルギーセンター
治験・臨床研究管理センター、がん診療センター
患者総合支援センター、創傷・足病ケアセンター
- ・許可病床数 : 909床（本院一般807床、精神42床、大手前整肢学園60床）

高槻赤十字病院

- ・診療科目数 : 25科
- ・指定医療機関認定数 : 23（地域支援病院など）
- ・特色ある診療施設 : 緩和ケア専門病棟（別棟）・訪問看護ステーション
- ・許可病床数 : 335床

1 業務実績

大阪赤十字病院 ※（ ）内は前年度増減率

単位：人

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	224,404	1,738(0.8%増)	614.8	4.8(0.8%増)	82.1%	118.7%
外来	393,701	7,131(1.8%増)	1620.0	22.6(1.4%増)		

高槻赤十字病院 ※（ ）内は前年度増減率

単位：人

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	83,626	－6,501(7.7%減)	229.1	－17.8(7.7%減)	60.6%	70.8%
外来	134,238	542(0.4%増)	552.4	－0.1(0.02%減)		

(1) 大阪赤十字病院

新型コロナウイルス患者受入体制整備支援	20,000,000円
---------------------	-------------

(2) 高槻赤十字病院

MR装置	25,000,000円
------	-------------

新型コロナウイルス患者受入体制整備支援	20,000,000円
---------------------	-------------

リハビリテーションの質向上のための整備	5,900,000円
---------------------	------------

7 看護師などの教育

当支部管内には、災害救護要員の確保とともに医療施設要員の充足を図るため、大阪赤十字看護専門学校を設置しています。(令和5年3月31日をもって閉校)

赤十字の理念を基調とし、豊かな人間性を育み、幅広い能力を備えた看護師としての基本的な教育に加えて、「赤十字概論」「災害看護」「赤十字救急法」など特色のある教育を実施しています。

また、国内外で活躍できる優秀な看護師の質的な充実、高度化を目的として、日本赤十字看護大学、日本赤十字社幹部看護師研修センターへの養成委託の推進を図っています。

1 大阪赤十字看護専門学校

(1) 学生の内訳

単位：人

区分	3年生(113回生)
生徒数	28

(2) 支部による経費の負担 救護看護師養成経費 4,200,000円

(3) 看護師国家試験合格者 28人

2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与

(1) 人数 12人 ※年額60万円を貸与

(2) 貸与金額 7,200,000円(支部負担額は3,600,000円)

(3) 貸与生の内訳

単位：人

1年生	2年生	3年生	4年生	計
2	2	3	5	12

8 社会福祉

1 大手前整肢学園

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園は、医療型障がい児入所施設として大阪赤十字病院の診療部門各科並びに検査部門と密接に連携し、高度な医療サービスを提供しています。

当支部では、同学園の入所児童の生活向上に資するよう機器整備に助成しました。

事業内容	利用者延数(人)	1日平均利用者数(人)
医療型障がい児入所施設 (肢体不自由児・重症心身障がい児)	14,267	39.1
療養介護 (肢体不自由者・重症心身障がい者)	3,414	9.3
医療型児童発達支援	1,546	6.8

事業内容	利用者件数(件)
保育所等訪問支援	34
相談支援事業(障害児相談支援・計画相談支援)	102

2 支部による助成(社会福祉施設の整備)

温冷配膳車(3台) 2,000,000円

9 血液事業

血液事業は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(平成15年7月30日施行)に基づき、各市町村献血推進協議会及び各種献血協力団体の理解と協力を得ながら大阪府赤十字血液センターをはじめ府内11か所の献血施設と移動採血車で献血の受入を行い、医療機関へ血液製剤を供給しています。

当支部では、府内の医療機関で必要な血液製剤をより安全に安定的に供給できるよう、採血用ベッドの整備に助成しました。

1 献血状況累計

単位：人

施設/採血方法 (構成比率)		200mL (2.2%)	400mL (65.1%)	成分 (32.7%)	計 (100%)	目標数	達成率 (%)
血液センター (森之宮・南大阪)		270	10,079	12,154	22,503	22,365	100.6
採血車		4,371	101,521	—	105,892	114,608	100.5
オープン		406	8,924	—	9,330		
献血ルーム	門真献血ルーム	98	17,541	—	17,639	19,532	90.3
	阪急グランドビル25献血ルーム	627	27,833	27,348	55,808	50,459	110.6
	あべの献血ルームKiZooNa	1,088	23,149	23,557	47,794	45,422	105.2
	西梅田献血ルーム	220	11,453	13,639	25,312	25,917	97.7
	まいどなんば献血ルーム	288	19,755	11,112	31,155	30,833	101.0
	御堂筋献血ルームCROSS CAFÉ	700	12,658	12,500	25,858	25,061	103.2
	阪急茨木市駅献血ルーム	187	6,194	8,583	14,964	15,148	98.8
	京阪枚方市駅献血ルーム	160	6,155	8,926	15,241	16,408	92.9
	堺東献血ルーム	207	6,504	8,664	15,375	15,114	101.7
	曾根崎献血ルーム RedOne CLUB	—	—	—	—	9,542	0.0
計 (人)		8,622	251,766	126,483	386,871	390,409	99.1

(前年度献血者数) 397,018人

(対前年比) 97.4%

※曾根崎献血ルーム RedOne CLUBについては令和5年度開業に変更となったため、目標数のみ計上されていること。

2 血液製剤の供給本数

単位：本

区分	血小板	血漿	赤血球	全血	計
供給本数	63,169	89,667	283,358	0	436,194

3 支部による助成 (採血受入機関の整備)

採血受入機関整備費 採血用ベッドの整備 2,500,000円

10 活動資金の募集

1 財政基盤の強化

日本赤十字社では、5月1日から全国一斉に「赤十字運動月間」を展開し、赤十字の理念と活動内容をより多くの皆さまに知っていただくとともに、活動資金のご協力をお願いします。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、活動資金の募集時期を5月・6月を中心としつつ、地域の実情に応じ柔軟に活動を実施いたしました。なお、活動資金募集目標額8億円に対して、府民の皆さまのご支援とご協力、故人からの遺言によるご寄付（遺贈）、また地域赤十字奉仕団や地区・分区関係者の多大なご尽力をもって、9億8641万余円という実績を収めることができました。

2 活動資金募集実績表（令和4年度）

（単位：円）

地区区分名	目標額	実績額	内訳				達成率
			一般社資		DM(法人)	DM(個人)	
			地区(地域)	支部			
北 地区	28,758,000	13,919,595	4,857,285	4,633,210	2,434,000	1,995,100	48.40%
都島地区	9,114,000	6,713,644	4,225,624	1,331,020	303,000	854,000	73.66%
福島地区	8,504,000	7,539,980	5,072,994	616,500	443,000	1,407,486	88.66%
此花地区	5,288,000	4,282,350	3,307,350	475,000	110,000	390,000	80.98%
中央地区	33,440,000	10,753,476	3,653,300	2,315,346	3,928,830	856,000	32.16%
西 地区	14,523,000	9,202,156	2,000,000	3,648,500	2,818,656	735,000	63.36%
港 地区	6,425,000	8,154,914	5,341,183	1,326,000	693,000	794,731	126.92%
大正地区	4,436,000	4,315,077	3,179,400	423,000	308,437	404,240	97.27%
天王寺地区	9,221,000	5,363,376	1,570,240	1,858,636	588,000	1,346,500	58.16%
浪速地区	7,900,000	5,909,276	2,873,000	852,776	1,841,500	342,000	74.80%
西淀川地区	7,414,000	13,772,300	5,223,300	654,000	2,387,000	5,508,000	185.76%
淀川地区	18,509,000	13,339,903	8,056,084	1,478,450	1,549,000	2,256,369	72.07%
東淀川地区	14,136,000	14,090,146	11,315,892	1,740,789	258,000	775,465	99.68%
東成地区	6,935,000	11,337,341	9,195,141	1,146,200	488,000	508,000	163.48%
生野地区	9,308,000	13,980,834	9,258,030	1,589,000	724,000	2,409,804	150.20%
旭 地区	6,550,000	8,637,978	6,269,978	846,000	483,000	1,039,000	131.88%
城東地区	12,513,000	14,957,084	10,776,706	1,964,507	900,000	1,315,871	119.53%
鶴見地区	7,988,000	9,366,450	7,686,855	893,595	256,000	530,000	117.26%
阿倍野地区	10,264,000	9,073,493	6,146,416	1,315,390	376,725	1,234,962	88.40%
住之江地区	8,830,000	5,728,935	2,835,882	1,650,000	410,053	833,000	64.88%
住吉地区	11,057,000	9,821,817	6,316,534	1,633,000	113,000	1,759,283	88.83%

地区区分名	目標額	実績額	内訳				達成率
			一般社資		DM(法人)	DM(個人)	
			地区(地域)	支部			
東住吉地区	9,361,000	12,012,477	4,936,245	5,834,232	459,000	783,000	128.32%
平野地区	12,987,000	11,651,225	7,199,227	2,009,000	447,000	1,995,998	89.71%
西成地区	6,539,000	5,381,371	2,633,310	832,769	427,000	1,488,292	82.30%
小計（大阪市）	270,000,000	229,305,198	133,929,976	41,066,920	22,746,201	31,562,101	84.93%
堺市堺区地区	13,006,000	9,405,176	5,058,754	1,275,675	1,959,267	1,111,480	72.31%
堺市中区地区	6,346,000	5,780,798	4,287,972	815,465	155,000	522,361	91.09%
堺市東区地区	6,917,000	5,601,175	4,145,707	765,468	80,000	610,000	80.98%
堺市西区地区	10,604,000	10,722,050	5,863,138	2,840,070	1,014,300	1,004,542	101.11%
堺市南区地区	9,027,000	6,233,794	3,530,558	1,329,236	128,000	1,246,000	69.06%
堺市北区地区	10,834,000	6,503,958	3,488,989	1,116,999	677,430	1,220,540	60.03%
堺市美原区地区	3,266,000	3,223,174	2,737,891	215,283	199,000	71,000	98.69%
小計（堺市）	60,000,000	47,470,125	29,113,009	8,358,196	4,212,997	5,785,923	79.12%
岸和田市地区	8,565,000	7,423,675	5,100,080	1,237,180	389,000	697,415	86.67%
豊中市地区	23,665,000	17,768,148	10,663,153	3,861,000	1,385,650	1,858,345	75.08%
池田市地区	6,264,000	4,592,461	2,389,411	1,059,050	545,000	599,000	73.32%
吹田市地区	23,079,000	13,424,945	4,818,942	3,207,500	875,503	4,523,000	58.17%
泉大津市地区	3,631,000	3,621,800	2,147,500	1,274,124	80,000	120,176	99.75%
高槻市地区	18,049,000	18,490,443	11,853,636	3,133,510	327,000	3,176,297	102.45%
貝塚市地区	3,877,000	3,977,400	2,808,400	646,000	76,000	447,000	102.59%
守口市地区	7,296,000	8,298,992	5,639,417	639,575	765,000	1,255,000	113.75%
枚方市地区	20,141,000	16,160,480	9,778,423	2,538,933	1,513,149	2,329,975	80.24%
茨木市地区	15,474,000	14,617,828	8,459,772	2,774,010	560,046	2,824,000	94.47%
八尾市地区	13,269,000	16,110,718	6,703,304	3,817,625	1,779,789	3,810,000	121.42%
泉佐野市地区	5,218,000	8,884,211	7,420,435	795,000	209,000	459,776	170.26%
富田林市地区	5,324,000	4,115,451	2,566,451	572,000	408,000	569,000	77.30%
寝屋川市地区	10,902,000	17,409,673	14,220,525	1,065,311	654,837	1,469,000	159.69%
河内長野市地区	4,832,000	3,636,406	2,342,406	593,000	160,000	541,000	75.26%
松原市地区	5,405,000	4,465,144	3,397,002	321,142	258,000	489,000	82.61%
大東市地区	5,892,000	8,338,153	6,051,153	691,000	792,000	804,000	141.52%
和泉市地区	8,601,000	12,997,142	5,646,798	854,000	857,000	5,639,344	151.11%
箕面市地区	8,076,000	9,926,577	7,404,129	1,252,448	380,000	890,000	122.91%
柏原市地区	3,275,000	4,782,414	3,751,214	663,100	50,000	318,100	146.03%
羽曳野市地区	4,928,000	5,855,989	4,321,426	514,000	430,000	590,563	118.83%
門真市地区	5,959,000	4,987,564	3,594,810	640,754	200,000	552,000	83.70%
摂津市地区	4,851,000	4,820,774	3,722,458	310,000	538,000	250,316	99.38%
高石市地区	2,846,000	2,441,623	1,843,720	226,903	95,000	276,000	85.79%
藤井寺市地区	3,179,000	3,059,714	1,997,019	774,195	8,000	280,500	96.25%
東大阪市地区	25,285,000	30,585,827	18,997,948	3,108,571	5,680,508	2,798,800	120.96%
泉南市地区	2,478,000	2,827,683	1,921,577	487,885	15,000	403,221	114.11%
四條畷市地区	2,579,000	4,050,707	3,569,707	182,000	159,000	140,000	157.07%

地区区分名	目標額	実績額	内訳				達成率
			一般社資		DM(法人)	DM(個人)	
			地区(地域)	支部			
交野市地区	3,626,000	6,027,557	5,332,357	343,200	110,000	242,000	166.23%
大阪狭山市地区	2,947,000	2,882,243	1,959,233	342,010	61,000	520,000	97.80%
阪南市地区	2,275,000	2,488,264	2,015,264	134,000	10,000	329,000	109.37%
三島地区島本町分区	1,630,000	1,335,190	868,190	247,000	10,000	210,000	81.91%
豊能地区豊能町分区	894,000	1,050,708	599,344	400,364	0	51,000	117.53%
豊能地区能勢町分区	399,000	586,563	528,900	32,663	20,000	5,000	147.01%
泉北地区忠岡町分区	757,000	979,638	802,638	57,000	100,000	20,000	129.41%
泉南地区熊取町分区	1,933,000	2,975,197	2,415,197	229,000	130,000	201,000	153.92%
泉南地区田尻町分区	425,000	387,997	375,997	2,000	0	10,000	91.29%
泉南地区岬町分区	671,000	855,370	650,370	98,000	10,000	97,000	127.48%
南河内地区太子町分区	577,000	833,650	760,650	63,000	0	10,000	144.48%
南河内地区河南町分区	711,000	1,157,625	1,094,625	0	20,000	43,000	162.82%
南河内地区千早赤阪村分区	215,000	770,277	716,277	10,000	0	44,000	358.27%
小計	270,000,000	280,002,221	181,249,858	39,198,053	19,661,482	39,892,828	103.70%
大阪市小計	270,000,000	229,305,198	133,929,976	41,066,920	22,746,201	31,562,101	84.93%
堺市 小計	60,000,000	47,470,125	29,113,009	8,358,196	4,212,997	5,785,923	79.12%
衛星都市郡部小計	270,000,000	280,002,221	181,249,858	39,198,053	19,661,482	39,892,828	103.70%
支部直小計	200,000,000	429,640,409	0	319,078,612	37,974,461	72,587,336	214.82%
総計	800,000,000	986,417,953	344,292,843	407,701,781	84,595,141	149,828,188	123.30%

3 会員数

個人	法人	計
11,965人	2,616社	14,581 (人・社)

4 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会

実施日	名称	会場	参加人数(人)
4月8日	日赤地区分区事務担当者説明会	大阪赤十字会館	36
1月24日	日赤地区分区事務担当者研修会	大阪赤十字会館	33
1月24日	日赤大阪衛星都市郡部地区分区事務連絡会	日赤会館	28

11 赤十字の広報

赤十字の活動は、皆様からいただく貴重な活動資金をもとに行われていることから、積極的かつ効果的な広報活動に努めています。

当支部では、5月・6月の「赤十字運動月間」を中心に、各地区・分区を通じて機関紙の配布や回覧、ホームページやSNSなどの各種広報媒体を有効に活用し、赤十字の基本理念や活動内容を紹介することで、より一層赤十字への理解と協力を求めています。

1 広報物の作成

資材名	使用区分	作成数(部)	活用方法
日赤大阪 [振込用紙無]	広報	5,000	有功会員や管内施設へ配布 各種イベント時に配布
	活動資金 募集	566,970	法人・個人・有功会員へ配布 地区・分区から地域へ配布、回覧 法人勧奨用の資材として配布
日赤大阪 [振込用紙有]	広報	5,800	各種イベント時に配布 一部地区・分区や管内施設に配布
	活動資金 募集	847,700	大阪市、堺市、門真市の讀賣・朝日・毎日・産経・日経 新聞に折り込み等
ポケットティッシュ	広報	16,500	支部や地区分区のイベントなどで配布
	活動資金 募集	268,500	地区・分区から地域へ配布
事業報告書	広報	50	評議員会用資料、支部HPに公開
事業計画	広報	1,900	評議員会用資料、支部HPに公開
私たちの想い	広報	15,000	前年度支援者に配布 大阪府赤十字大会などで配付
赤十字運動月間のお礼用チラシ	活動資金 募集	56,000	地区・分区から地域へ回覧
赤十字カレンダー	記念品	4,700	大阪府赤十字大会などで配付

2 マスメディア等による広報

(1) テレビ放送

会社名	CMの種類	放送回数（回）		無償放送依頼期間	
		無償	有償	無償	有償
株式会社毎日放送	「勇気のリレー」 (15秒)	2	2	5月1日～ 3月31日	5月1日～ 6月30日
朝日放送テレビ株式会社		81	2		
関西テレビ放送株式会社		0	2		
読賣テレビ放送株式会社		5	2		
テレビ大阪株式会社		43	7		
株式会社ジュピターテレコム		90	20		
阪急電鉄株式会社	同（30秒）	434	—		

※放送回数は5月1日～6月30日の実績。

※阪急電鉄株式会社には、阪急梅田駅構内B I G M A Nでの放送実績。



(2) 駅貼りポスター

会社名	ポスターの種類	掲出数（枚）	掲出依頼期間
JR西日本 大阪支社管内	赤十字運動 月間ポスター（B2）	115	5月1日～31日の内の 7～31日間（無償）
近畿日本鉄道		10	
阪急電鉄		55	
阪神電気鉄道 阪神電気鉄道内 神戸高速鉄道内含む		50	
京阪電気鉄道		45	

※近畿日本鉄道での掲出は、デジタルサイネージを活用したもの。

3 その他

- ア 赤十字運動月間ポスターを各地区分区及び町内会などで掲示
- イ 各地区町村発行の広報紙に赤十字活動の記事の掲載
- ウ 支部ホームページ及びフェイスブックの活用（最新情報の発信及び報告）
- エ 市区町村の庁舎及び支部社屋に赤十字運動用の幟を立てるとともに、支部社屋前掲示板でのPR
- オ DVD（私たちの想いや赤十字この一年など）の活用

12 赤十字思想及び 国際人道法の普及

国際人道法は、「武力紛争のもたらす不必要な犠牲や損害を防止すること」を目的としています。

赤十字思想及び国際人道法の普及は、国際赤十字・赤新月運動の重要な使命であり、まず赤十字職員が赤十字や国際人道法を知ることからはじめ、多くの方に理解・共感していただくことを目指しています。

1 国際人道法の普及

(1) 第4ブロック合同国際人道法普及研修の開催

主 催：日本赤十字社第4ブロック支部

対 象：第4ブロック支部施設職員、大阪府・府内各市国民保護担当者・青年／学生赤十字奉仕団

実施日	会場	内容
2月24日	オンライン	国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と日本赤十字社、グループワークなど

(2) 国際人道法普及セミナー（WEB研修）への協力及び参加

主 催：日本赤十字社（本社）

内 容：受講者として職員が参加（WEB研修の受講）

実施日	会場	内容
2月15日～17日	オンライン	(1) 日本赤十字社における国際人道法の普及・啓発に関する方針についての理解 (2) 国際人道法に関する最新の動向の把握 (3) 国際人道法の普及スキルの習得、向上 (4) 各支部施設における普及計画の策定（普及の実施）

(3) その他

ア 新規採用職員研修における国際人道法に関する講義（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

イ 近畿ブロックキャリア開発ラダー研修における国際人道法に関する講義

ウ 大阪赤十字看護専門学校における国際人道法に関する講義

13 評議員会

評議員会は、日本赤十字社定款第71条に基づき、支部の重要な業務について審議し、支部長の諮問に答えるほか、本社代議員並びに支部長・副支部長及び監査委員の選出にあたります。

1 開催状況

期日	会場	議案
令和4年 6月9日	大阪赤十字会館	(1) 令和3年度大阪府支部歳入歳出決算について (2) 令和3年度大阪赤十字病院歳入歳出決算について (3) 令和3年度大手前整肢学園歳入歳出決算について (4) 令和3年度高槻赤十字病院歳入歳出決算について (5) 令和3年度大阪府赤十字血液センター事業報告について (6) 支部長の選出について (7) 副支部長の選出について (8) 代議員の選出について
令和5年 2月10日	大阪赤十字会館	(1) 令和5年度大阪府支部事業計画案並びに歳入歳出予算案について (2) 令和5年度大阪赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (3) 令和5年度大手前整肢学園事業計画案並びに歳入歳出予算案について (4) 令和5年度高槻赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (5) 令和5年度大阪府赤十字血液センター事業計画案について (6) 令和4年度大阪府支部歳入歳出補正予算案について (7) 令和4年度大阪赤十字病院歳入歳出補正予算案について (8) 令和4年度高槻赤十字病院歳入歳出補正予算案について (9) 監査委員の選出について (10) 代議員の選出について

14 赤十字大会

日赤大阪府支部に多額の活動資金を寄せられた篤志家ならびに業務に功労のあった奉仕者に対し、有功章若しくは表彰状又は感謝状が贈られました。

なお、本大会は、令和4年11月22日に名誉副総裁高円宮妃殿下のご臨席のもと開催いたしました。

1 表彰者の内訳

表彰名	受表彰者数
金色有功章（社資功労）	52人、33法人・団体
// （業務功労）	85人
銀色有功章（社資功労）	58人、28法人・団体
// （業務功労）	95人
日本赤十字社社長感謝状（社資功労）	58人、50法人・団体
// （業務功労）	35人
支部長表彰状・感謝状（社資功労）	170人、49法人・団体

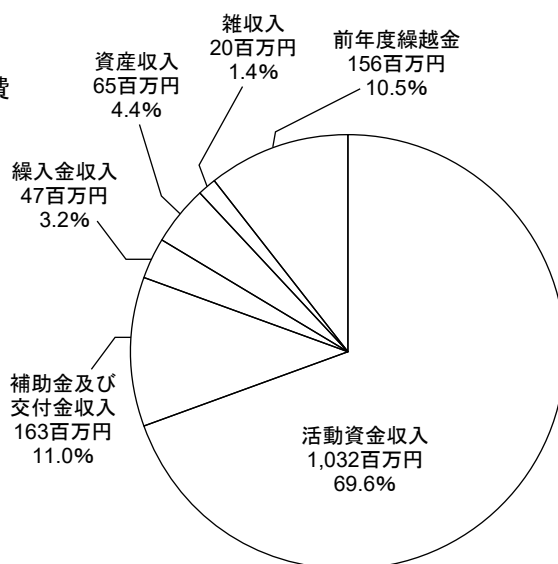
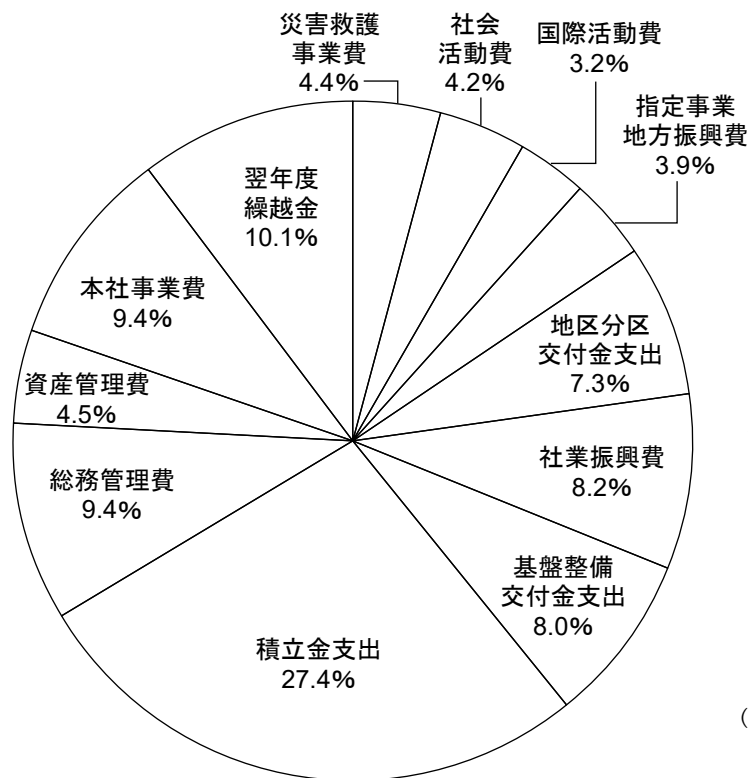
15 会計

1 活動資金の収入支出

(百万円未満原則四捨五入、端数調整あり)

支出 14億8,400万円

収入 14億8,400万円



(注) グラフ内の割合 (%) については、小数第二位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合があります。

百万円

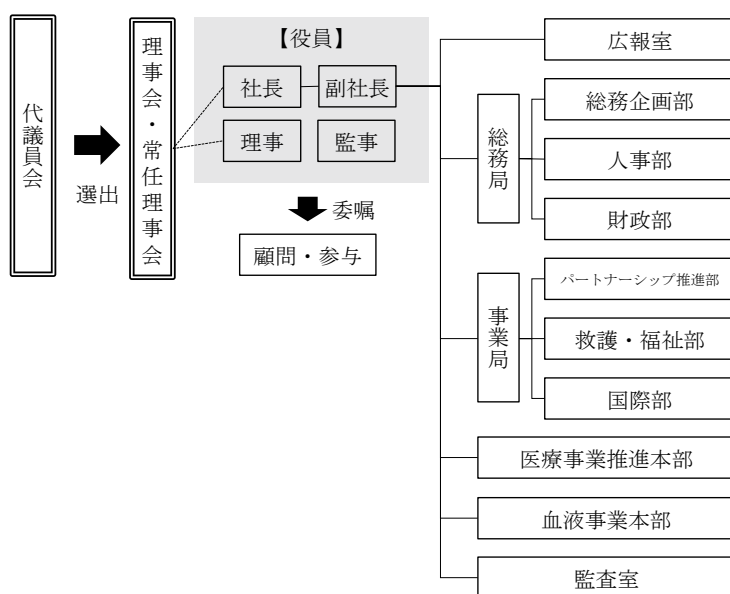
災害救護事業費	65	救護訓練の実施、救護員の研修、災害救護装備の整備など
社会活動費	62	救急法などの講習会、赤十字ボランティアや青少年赤十字など
国際活動費	47	途上国の災害対策や保健医療の強化など
指定事業地方振興費	58	災害用医薬品や救護用通信機器の整備など
地区区分交付金支出	109	地域の赤十字活動
社業振興費	122	赤十字大会、活動資金募集や広報活動、国際人道法の普及
基盤整備交付金支出	119	医療事業・社会福祉・血液事業を行っている関連施設の施設整備
積立金支出	407	施設整備積立金、事業準備積立金の積立
総務管理費	140	職員の人件費や研修費、社会保険料や固定資産税など
資産管理費	67	支部社屋の維持管理
本社事業費	140	本社の活動費
翌年度繰越金	149	
支出計	1,484	※当初の見入を上回る活動資金について、支部の救護用施設や設備の整備・改修のための積立を行いました。

16 支部の機構と役職員

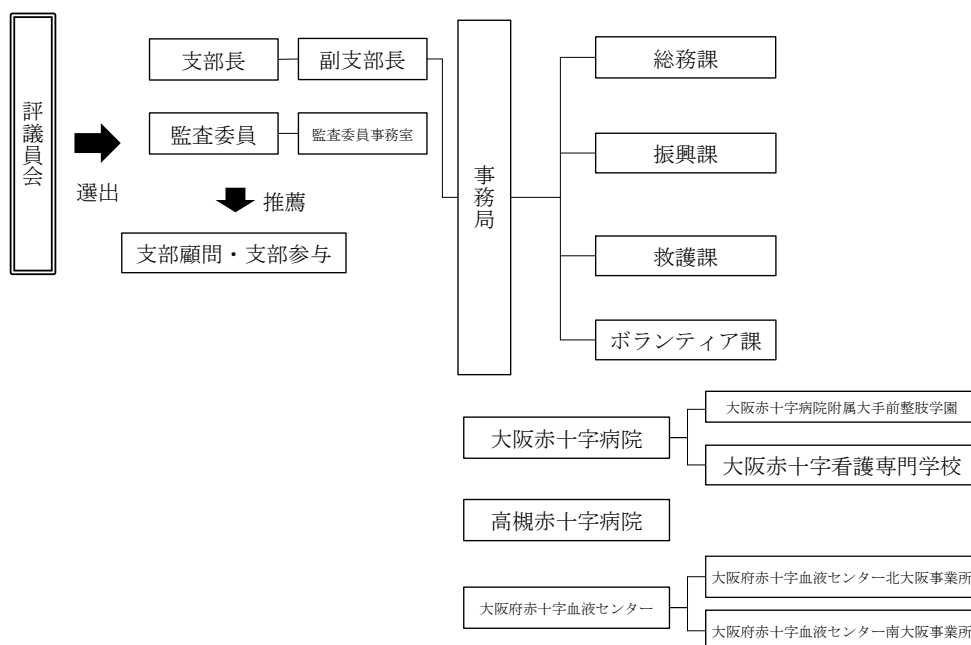
1 機構

日本赤十字社の本社は東京に、支部は各都道府県庁の所在地におかれています。各支部の管内には地区と分区があり、地区は都又は市の区と市、分区は町村にあります。また、政令指定都市には区地区を統括する地区本部があります。各都道府県にある赤十字病院、血液センターなどの施設は、一部本社直轄のものを除いてすべて支部に所属しています。

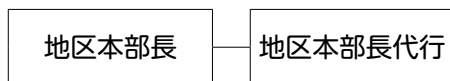
(1) 本社



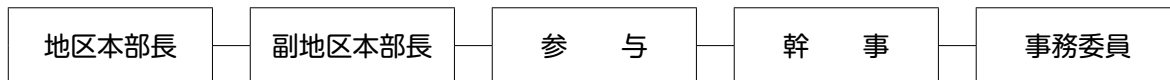
(2) 支部及び管内施設



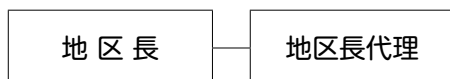
(3) 大阪市地区本部



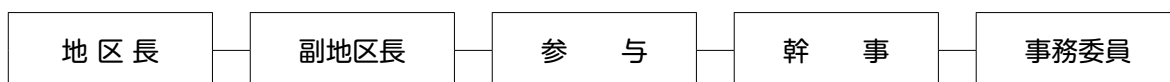
(4) 堺市地区本部



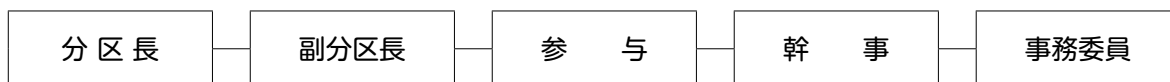
(5) 地区（大阪市）



(6) 地区（堺市の区・衛星都市）



(7) 分区（町・村）



(注)

大阪市は、平成24年7月31日をもって日赤地区業務を返上したことで、平成25年4月1日から社資の受領・送金などの業務を大阪市各区の社会福祉協議会で取り扱うこととなった。

ついては、大阪市地区本部は日本赤十字社大阪府支部内に置き、大阪市赤十字奉仕団長に地区本部長を、大阪市社会福祉協議会長に地区本部長代行を委嘱した。

また、大阪市各区の地区長については、各区の赤十字奉仕団長に、各区の社会福祉協議会長に地区長代行を委嘱した。

17 大阪日赤有功会

大阪日赤有功会は、昭和45年12月、日本赤十字社名誉副総裁であられた高松宮妃殿下をお迎えしての発会式を盛大に挙行し、大阪商工会議所市川忍会頭（第18代会頭）をはじめとする23人の発起人により発足しました。現在約540人の会員を擁しています。

1 活動資金募集協力

令和4年度は、会員並びに会員の紹介者から295人（社）、61,665,641円の活動資金を日本赤十字社大阪府支部に寄付しました。

昨年度の功勞に対して、日本赤十字社大阪府支部長から感謝状を受彰しました。

2 総会の開催

令和4年6月29日、大阪赤十字会館において会員45名が集い、総会を開催しました。令和3年度の事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）、役員の選出について審議した結果、全員異議なく承認されました。

第二部では、大阪赤十字病院 呼吸器内科部院内部長 黄 文禧医師から「新型コロナウイルス感染症とは？」また、日赤大阪府支部 高橋 晃子救護課長から、「ウクライナ人道危機への赤十字の対応について」をテーマに講演会を開催しました。

3 大阪日赤有功会講演会の開催

令和4年11月22日、シェラトン都ホテル大阪にて、令和4年度大阪府赤十字大会式典終了後、日本赤十字社名誉副総裁 高円宮妃殿下ご臨席の下、大阪日赤有功会講演会を開催しました。大阪府赤十字血液センター 谷 慶彦所長から「血液型のお話と血液の国際協力」と題して講演、来賓及び有功会員約70名の方々が熱心に聴講されました。

4 創立50周年記念チャリティーコンサートの開催

令和4年11月22日、大阪日赤有功会講演会の終了後、チベット出身歌手 バイマーヤンジンさんによるチャリティーコンサートを開催しました。参加費は全額、赤十字活動資金として日赤大阪府支部に寄付しました。

5 赤十字活動への支援

- (1) 青少年赤十字創設100周年を記念し、広く事業PRするポスターを様々な会場で展示できるように、簡易に持ち運びできるパネルスタンド等を寄贈しました。
- (2) 健康生活支援講習を支援するため、講習用の介護ベッドを寄贈しました。

6 修学奨励

大阪赤十字看護専門学校の卒業生、大手前整肢学園内の大阪府立堺支援学校の新入生及び卒業生にお祝いの品を贈呈しました。

7 会報誌の発行

令和5年1月に会報誌第15号を発行し、会員相互の情報交流を推進しました。

8 広報紙「日赤大阪」等の配付

日本赤十字社大阪府支部の広報紙「日赤大阪」、「事業報告書」、「事業計画」、「赤十字カレンダー」を会員に配布し、大阪府支部の活動の情報を提供しました。

併せて「皇室カレンダー」を配付しました。

9 常任委員会の開催

第1回（令和5年3月9日）

- イ 令和4年度事業報告（案）並びに収支決算（見込）について審議しました。
- ロ 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議しました。
- ハ 会則の一部改正について審議しました。

10 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への出席

令和4年10月6日、令和4年度日赤紺綬・有功会会長協議会総会が大阪府大阪市内で開催され、会長が出席しました。

特集 新型コロナウイルス感染症に対する対応について

【令和元年度～令和4年度】

日本赤十字社大阪府支部では、クルーズ船への救護員の派遣にはじまり、国・自治体の取組みへの協力、コロナ禍での災害への備え、オンラインを活用した講習や奉仕団活動など、従来の活動を柔軟に変化させて、工夫を凝らしながら、コロナ禍にあっても様々な活動を展開しました。

1 医療救護活動

(1) クルーズ船での医療救護活動

日本赤十字社は、厚生労働省からの派遣依頼に基づき、横浜港に停泊中のクルーズ船乗員乗客の健康管理を目的に、令和2年2月10日から救護員（医師・看護師等）を延べ67人及び日赤DMA Tを延べ75人派遣しました。

また、埼玉県内の一時滞在施設に滞在している武漢市からのチャーター便による帰国者及びクルーズ船からの下船者（PCR陰性）の経過観察を目的に、令和2年2月7日から医療従事者を延べ113人派遣しました。

表1. 大阪府支部から派遣した救護員

班名	派遣期間	活動場所	人数
第1班	令和2年2月16日～18日	横浜港	4人（大阪赤十字病院）



図1. クルーズ船に向かう救護班



図2. 24時間オンコール体制で対応する様子

(2) 大阪府調整本部の業務支援

大阪府からの派遣依頼に基づき、感染者の入院先調整業務等を支援するため、大阪府調整本部（入院フォローアップセンター）へ大阪府支部職員（看護師）を派遣するとともに、大阪赤十字病院OG（看護師）及び高槻赤十字病院OG（看護師）、さらに第5波では看護奉仕団（4名）も協力しました。

表 2. 大阪府支部から派遣した職員

派遣期間	活動場所	派遣人数
令和2年4月6日～令和2年5月19日	大阪府庁	延べ29人日 (日本赤十字社大阪府支部)
令和2年7月29日～令和2年9月30日	大阪府庁	延べ26人日 (日本赤十字社大阪府支部)
令和2年11月2日～令和3年2月18日	大阪府庁	延べ49人日 ※ 上記以外に大阪赤十字病院OG、 高槻赤十字病院OGが協力
令和3年4月5日～令和3年9月12日	大阪府庁	延べ43人日 ※ 上記以外に大阪赤十字病院OG、 高槻赤十字病院OG、看護奉仕団が 協力



図 3. 受入病院と連絡を取り合う看護師



図 4. 患者情報を確認する看護師

(3) 軽症者等の宿泊療養施設への救護員の派遣

大阪府からの派遣依頼に基づき、軽症者等の宿泊療養施設（ホテル）での受け入れの立ち上がりを支援するため、救護員（医師、看護師、薬剤師）を派遣しました。また、株式会社NTTドコモ関西支社から携帯電話10台を無償で貸与いただき、活動する救護員の連絡手段として活用しました。

表 3. 大阪府支部から派遣した救護員

派遣期間	活動場所	派遣人数
令和2年4月14日～21日	大阪市西区	延べ26人日 (大阪赤十字病院及び高槻赤十字病院)
令和2年4月22日～25日	大阪市住之江区	延べ9人日 (大阪赤十字病院及び高槻赤十字病院)



図 5. 患者情報を確認する看護師



図 6. 感染拡大を防止するための受診体制を確認する救護員

(4) 大阪府の入院患者待機ステーションへのDMATの派遣

大阪府からの派遣依頼に基づき、入院患者待機ステーションで活動するため、DMAT 隊員（看護師、業務調整員）を派遣しました。

表 4. 大阪赤十字病院から派遣したDMAT 隊員

派遣期間	活動場所	派遣人数
令和3年5月2日～4日	入院患者待機ステーション	延べ6人日 (大阪赤十字病院)

(5) 重症患者対応を支援するため看護師を大阪府内の病院等に派遣

厚生労働省等からの依頼に基づき、新型コロナウイルスの第4波により病床がひっ迫した大阪府内の病院等を支援するため、全国の赤十字病院から看護師が派遣されました。

表5. 全国の赤十字病院から派遣された看護師

派遣期間	活動場所	派遣元の赤十字病院	派遣人数
令和3年4月20日～ 令和3年6月30日	大阪コロナ重症センター	富山、京都第一、 松江、高知	6人
令和3年4月20日～ 令和3年5月5日	高槻赤十字病院	伊勢、姫路、松江、高知	4人
令和3年6月1日～ 令和3年6月21日	関西医科大学 総合医療センター	八戸、仙台、石巻、那須、 足利、前橋、高知	8人



図7. 意識のない重症患者のケアを行う看護師



図8. 大阪コロナ重症センターで活動する看護師

写真：渋谷敦志

(1) 感染症対策のために必要な整備資機材の備蓄

コロナ禍にあっても地震や台風などの災害が発生する可能性があることから、いつでも救護班を派遣し医療救護活動を実施できるようマスク・フェイスシールド・医療用ガウンなど必要な整備資機材の備蓄を増強しました。

整備資機材	数量
サージカルマスク	1,050枚
携帯用手指消毒液	392個
フェイスシールド	350枚

整備資機材	数量
N95マスク	350枚
ディスポ手袋	2,100枚
医療用ガウン	1,050枚

(2) コロナ禍における避難所運営訓練

令和2年6月に大阪府から公表された避難所運営マニュアル作成指針（新型コロナウイルス感染症対応編）に基づき、従来の避難所開設・運営との違いを行政職員と一緒に実地で確認する訓練に協力しました。赤十字からは、衛生用品の使用や消毒方法について助言し、防護服（マスク、手袋、フェイスシールド、ガウン）の着脱方法についても説明しました。

表6. 訓練日程

実施日	主催	場所	人数
令和2年7月20日	大阪府八尾市	八尾市立南の木防災体育館	7人 (日本赤十字社大阪府支部及び 大阪赤十字病院)
令和2年7月22日	大阪府堺市	元堺市立原山ひかり小学校	8人 (日本赤十字社大阪府支部及び 大阪赤十字病院)



図9. 避難所受付での手指消毒を実演する職員



図10. 防護服の着脱方法を指導する職員

(3) 感染症を想定した総合防災訓練（近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練）

令和3年11月5日、堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点「近畿圏臨海防災センター」において、南海トラフ地震を想定した訓練が実施されました。大阪赤十字病院から救護班1班と院内感染対策チームの救護員が参加し、被災地救護所に搬送された新型コロナウイルス感染症の患者を処置するという想定で訓練を行いました。併せて、当支部職員も救援物資搬送の訓練を行いました。



図11. 新型コロナウイルス感染症の患者を処置するという想定での訓練



図12. 救援物資の搬送を行う訓練

(4) 日本赤十字社大阪府支部災害対策本部要員研修

令和3年8月25日、大阪赤十字会館において、当支部職員を対象とした災害対策本部要員研修会を開催し、「災害対策本部要員の災害対応」演習、平时に会議室として使用しているスペースの「ロジスティクス中継基地及び災害対策本部」設置実習、衛星通信や大型情報モニターを用いた「通信資機材や情報端末の設定」実習、災害時の様々な情報を収集・集約する「クロノロジー実習」等を行いました。



図13. 簡易ベッドの設営方法を確認する様子



図14. 情報通信機器の使用方法を確認する様子

(5) 日本赤十字社大阪府支部資機材習熟研修

令和3年9月17日及び令和4年2月18日、大阪赤十字会館において、当支部職員を対象とした資機材習熟研修会を開催し、災害救護資機材の搬入・搬出、事務作業の展開、既存の通信インフラが破壊された状況下での「通信環境の構築」、「無線機」を使用した実習、「トラックや緊急車両」の運転等を行いました。



図15. 資機材を搬出している様子



図16. テントなどの資機材を展開する様子

(6) 日本赤十字社大阪府支部救護員研修（感染症対策）

コロナ禍での災害救護活動を安全かつ適切に行うため、「感染症に対する知識」や「災害救護活動時の感染対策」などについて、大阪赤十字病院や日本赤十字社和歌山医療センターの医師から映像配信型で講義を受け、救護員の感染対策にかかる知識向上を図りました。



図17. オンライン研修を受講する支部職員

3 各種支援物資の受付と配分

(1) マスクの確保と地区・分区への提供

新型コロナウイルス感染症の流行により、マスクが不足し、購入できない状況が続いていた令和2年4月10日に大阪府日中友好協会の紹介により、中国企業からマスク15万枚の寄贈を受けました。地域の保健医療活動・地域福祉活動を推進されている地区・分区に対し、提供し、大変喜んでいただきました。



図18. マスクを大阪府支部において受贈



図19. 寄贈されたマスクを支援物資として配分

(2) 支援物資の受付・活用

多くの企業団体から、マスクを始め、フェイスシールド、防護服など不足していた様々な支援物資を寄贈いただき、大阪赤十字病院、高槻赤十字病院、大阪府赤十字血液センター及び大阪府支部で活動に役立てました。

また、医療従事者を応援したいとお申し出により、お菓子や子ども服なども寄贈いただきました。

表 7. 寄贈いただいた支援物資

寄贈元	物品	数量
江西省人民对外友好協会	マスク	1,000枚
株式会社ASSホールディングス	マスク	1,002枚
遼寧成大グループ	マスク	150,000枚
山東省人民对外友好協会	マスク	2,000枚
大阪府日中友好協会	マスク	800枚
株式会社テレビ東京コマーシャル	マスク	60枚
セブンイレブン大阪阿波座二丁目店	マスク	180枚
国際ロータリー第2660地区ロータリークラブ ローターアクトクラブ	フェイスシールド	1,920セット
星朋商工株式会社	マスク	10,000枚
株式会社関西みらい銀行	防護服 ゴーグル	96着 100個
株式会社三愛ハウジング	マスク フェイスシールド	2,000枚 1,000セット
セブンイレブン大阪阿波座二丁目店	マスク	200枚
有限会社垣内	ガウン	79着
株式会社三愛ハウジング	マスク 防護服	800枚 1,000着
大阪府日中友好協会	マスク	1,100枚
国際ロータリー第2660地区	防護服	3,000着
星朋商工株式会社	マスク	10,000枚
国際ロータリー第2660地区	フェイスシールド	7,000セット
星朋商工株式会社	除菌スプレー	70個
カゴメ株式会社	飲料	306本

※このほか、大阪赤十字病院及び高槻赤十字病院並びに大阪府赤十字血液センターに直接寄贈いただいた物資もあります。

(1) 啓発用資材や動画等の発信

ホームページやフェイスブック、ユーチューブ等、様々な媒体を通して感染の拡大を防ぐために大切なお知らせを発信しました。

(2) 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」の活用

新型コロナウイルス感染症は、“3つの顔”を持っており、これが“負のスパイラル”としてつながることで、更なる感染の拡大につながっています。

日本赤十字社では、この“負のスパイラル”を知り、断ち切るためのガイドラインとして「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を作成しております。

新型コロナウイルス感染症に関する教育教材として、大阪府教育庁を通じて府内の小・中・高等学校等に対して案内し、多くの学校で活用されています。大阪府の府民文化部人権局のホームページでも取り上げられ、広く活用されています。

また、ご依頼のあった赤十字奉仕団、学校、自治会などにおいてこれを題材に講演を行いました。

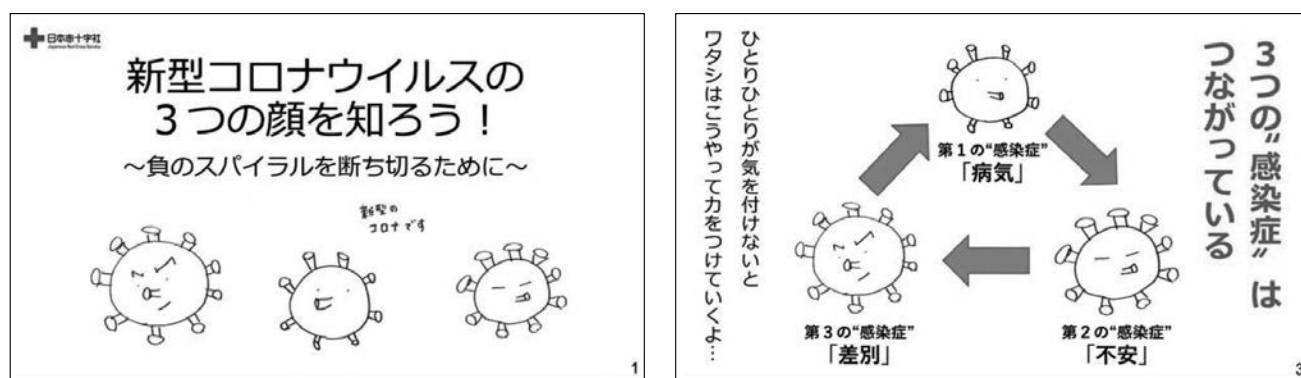


図20. 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！



図21. 地域の学校や公民館などで「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を説明する職員

5 各種相談窓口の開設

(1)「こころの健康相談」の実施

新型コロナウイルスによる感染症の蔓延が続く中で、初めての隔離や自宅待機を経験した方が、大変な思いをしていたり、その方を支える家族・友人・職場の方もどのように接したらよいか、迷われたりすることも少なくありません。感染症による不安や自粛生活に伴う悩みなどを受け付ける「こころの健康相談」窓口を開設しました。

表 8. 相談件数

開設期間	相談件数
令和2年5月8日～令和3年3月31日	16件

(2)「高齢者の家庭介護相談」の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の介護サービスが受けることができず、高齢者介護に不慣れな家族が対応している家庭が増えています。そのような家族の方に、ちょっとした介護のコツを知っていただき、お困りごとに個別対応するため「高齢者の家庭介護相談」窓口を開設しました。

表 9. 相談件数

開設期間	相談件数
令和2年5月26日～令和3年3月31日	2件



図22. 窓口で相談による職員（看護師）

(1) 裁縫ボランティア

大阪市西成区愛隣地区の訪問看護ステーションが立ち上げた「あいりん手作りマスクプロジェクト」に10人以上の裁縫ボランティアが参加し、マスクの作成に協力しました。マスクの布地やゴム紐等は、大阪日赤有功会から寄付をいただいています。



図23. 色とりどりの生地を使ってマスクを作製する裁縫ボランティア

(2) 地域赤十字奉仕団

日頃からの防災や災害時の食の確保等を啓発する活動として「赤十字防災デー」を実施しています。地域の日赤担当窓口や赤十字ボランティアの皆さんが中心となり、各役所や街頭で災害食のレシピ等の資料に加え、「新型コロナウイルスの3つの顔」を配布し、地域の方々に呼びかけました。

表10. 実施市町村

年度	実施市町村
令和2年度	7市区町村（堺市中区、池田市、吹田市、守口市、豊能町、熊取町、千早赤阪村）
令和3年度	7市区町村（阿倍野区（オンライン）、堺市中区、池田市、吹田市、守口市、高石市、豊能町）



図24. パンフレットを配布する地域奉仕団



図25. 感染拡大防止を訴える展示ブース

(3) オンラインによる奉仕団活動（大阪日赤有功会からのご支援）

新型コロナウイルス感染症の影響により会議や研修などが対面で実施できなくなりましたが、できる限りオンライン活用して実施をしています。

大阪日赤有功会からのご支援によりオンライン環境に対応した機材等を充実することができました。



図26. 青少年赤十字活動に関するオンライン会議の様子

(1) オンライン講習の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により集合型での講習実施が難しくなりましたが、突然の心停止に対応するAED・心肺蘇生等の普及を継続できるよう、人との接触を心配せずに参加できるオンライン講習を取り入れて実施しています。

表11. 実施回数・受講者数

実施期間	実施講習	実施回数	受講者数
令和2年9月～令和3年3月	救急法 幼児安全法	16回	412人
令和3年4月～令和4年3月	救急法 幼児安全法 健康生活支援講習	45回	1,486人



図27. オンライン講習で心肺蘇生やAEDの使い方を指導する救急法指導員

(2) 対面講習における感染対策の強化（大阪日赤有功会からのご支援）

新型コロナウイルス感染対策（接触防止）のため、対面で実施する心肺蘇生の講習では、受講者1人につき蘇生人形1体を使用することに変更しました。

このため、蘇生人形の数が不足しましたが、大阪日赤有功会からのご支援により蘇生人形を購入することができました。

表12. 購入数

年度	購入数
令和2年度	12体
令和3年度	4体



図28. 寄贈いただいた蘇生人形

8 大阪府管内施設の活動支援

(1) 大阪赤十字病院・高槻赤十字病院の支援

大阪赤十字病院及び高槻赤十字病院では、厚生労働省はじめ各行政機関からの要請に応じ、接触者発熱外来の設置や新型コロナウイルス感染症の患者の受け入れ、治療にあたっています。

当支部では、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに要する機器等の整備のため、大阪赤十字病院及び高槻赤十字病院に対して資金を送金し、支援しました。

表13. 送金日及び送金額

送金日	送金額
令和2年5月8日	4,000万円（1病院あたり2,000万円）
令和3年4月30日	4,000万円（1病院あたり2,000万円）
令和4年7月15日	4,000万円（1病院あたり2,000万円）

<大阪赤十字病院>



図29. 陽性重症患者の管理を行う看護師

<高槻赤十字病院>



図30. 感染防止を徹底して治療にあたる医師



図31. 陽性患者にリハビリを実施する理学療法士



図32. 夜中に陽性患者の看護を行う看護師



図33. 感染者の看護を行う看護師



図34. コロナ患者を救急搬送する医師

(2) 赤十字血液センターの支援

大阪府赤十字血液センターでは、外出自粛やイベント等の中止に伴い、献血者が減少している中で、輸血医療に使用される血液の確保に努めています。

血液確保が厳しくなった時期には、献血の呼びかけを応援するため、支部職員を派遣し、血液センター職員と一緒に呼びかけを行いました。

表14. 大阪府支部から派遣した職員

派遣期間	活動場所	派遣人数
令和3年1月18日～ 令和3年2月22日	献血ルーム献血バス	延べ24人 (日本赤十字社大阪府支部)
令和3年9月1日～ 令和3年9月29日	献血ルーム献血バス	延べ20人 (日本赤十字社大阪府支部)



図35. コロナ禍で血液不足が心配される中、献血の呼びかけに協力する支部職員（両写真とも右端）

大阪府内の赤十字施設

日本赤十字社大阪府支部

	住 所	〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7
	電 話	06-6943-0705
	ファックス	06-6941-2038
	ホームページ	https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/

大阪赤十字病院

	住 所	〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30	
	電 話	06-6774-5111	
	ファックス	06-6774-5131	
	ホームページ	https://www.osaka-med.jrc.or.jp/	
	附属施設	大阪赤十字看護専門学校	令和5年3月31日をもって閉校
		大手前整肢学園	06-6775-1900

高槻赤十字病院

	住 所	〒569-1096 高槻市阿武野1-1-1	
	電 話	072-696-0571	
	ファックス	072-696-1228	
	ホームページ	https://www.takatsuki.jrc.or.jp/	

大阪府赤十字血液センター

	住 所	〒536-8505 大阪市城東区森之宮2-4-43	
	電 話	06-6962-7001	
	ファックス	06-6968-4900	
	ホームページ	https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/index.html	

献血マップ

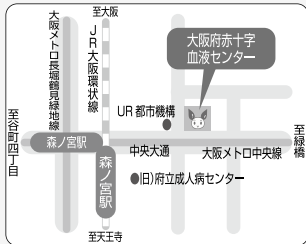
大阪府赤十字血液センター

☎ 0120-326759

大阪市城東区森之宮 2-4-43
JR 大阪環状線・大阪メトロ中央線・
長堀鶴見緑地線森ノ宮駅東へ350m

受付時間 9時～17時
(成分献血は16時30分まで)
(ただし、日曜日に限り15時まで)

休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。



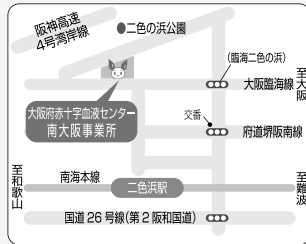
大阪府赤十字血液センター南大阪事業所

☎ 0120-736759

大阪府貝塚市沢 356-1
南海本線二色浜駅下車
西へ徒歩 15 分

受付時間 9時～17時
(成分献血は15時まで)

開設日 土曜日
(祝日、年末年始は除く)



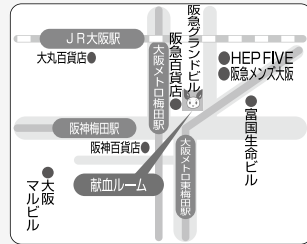
阪急グランドビル25献血ルーム

☎ 0120-376759

大阪市北区角田町 8-47
阪急グランドビル 25 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



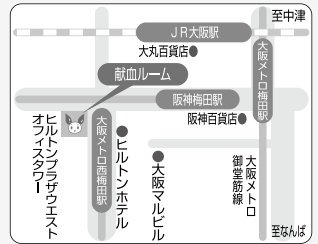
西梅田献血ルーム

☎ 0120-316759

大阪市北区梅田 2-2-2
ヒルトンプラザウエスト
オフィスタワー 10 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ

☎ 0120-276759

大阪市中央区西心斎橋 1-4-5
御堂筋ビル地下 1 階
大阪メトロ心斎橋駅 7 号出口より南へすぐ

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



まいどなんば献血ルーム

☎ 0120-296759

大阪市中央区難波 4-4-4
難波御堂筋センタービル 4 階
大阪メトロ御堂筋線なんば駅 10 号出口直結

受付時間 10時30分～13時、14時～18時30分
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



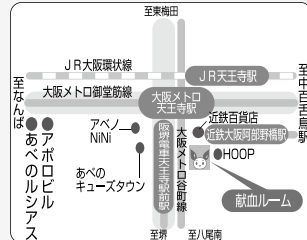
あべの献血ルーム KiZooNa

☎ 0120-366759

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-21
岸本ビル 3 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



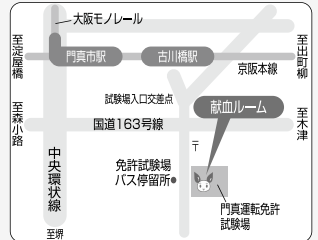
門真献血ルーム

☎ 0120-356759

大阪府門真市一番町 23-16
門真運転免許試験場 別館 1 階
京阪本線古川橋駅下車後、
京阪バス免許試験場、または徒歩約 1.2km

受付時間 9時～12時、13時～16時30分
(全血献血のみ受付)

休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。
※駐車場はありません。



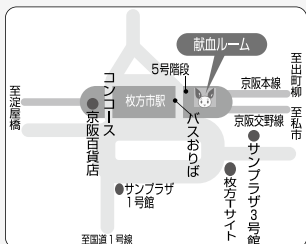
京阪枚方市駅献血ルーム

☎ 0120-336759

大阪府枚方市岡東町 19-1
京阪枚方市駅東口 1 階
5 号階段横

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 金曜日、第1・3日曜日、年末年始



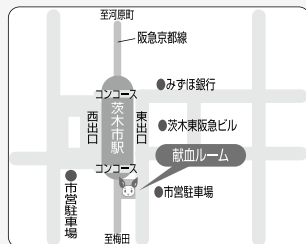
阪急茨木市駅献血ルーム

☎ 0120-346759

大阪府茨木市永代町 1-5
阪急京都線茨木市駅
ロサヴィア 1 階東側

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、
年末年始



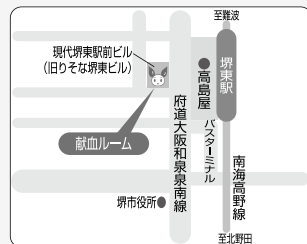
堺東献血ルーム

☎ 0120-386759

大阪府堺市堺区北瓦町 2-4-18
現代堺東駅前ビル 5 階
(旧りそな堺東ビル)

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 木曜日、第3日曜日、年末年始



令和4年度 事業報告書

令和5年6月発行

日本赤十字社大阪府支部

〒540-0008

大阪市中央区大手前2-1-7

電話:06-6943-0705(代表)

FAX:06-6941-2038

URL:<https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/>

Facebook:<http://www.facebook.com/jrcosaka/>